

Gender Summit 10 (GS10) 実施企画

平成28年7月

人財部 ダイバーシティ推進室



科学技術振興機構

GS10の開催企画概要

日程：

2017年（平成29年）5月25日（木）、26日（金）

会場： 一橋講堂（千代田区一ツ橋2-1-2）



テーマ：

ジェンダーとダイバーシティ推進を通じた
科学とイノベーションの向上

サブテーマ：

1. 女性参画拡大により期待されるイノベーション上の利点の明確化
2. ダイバーシティ推進に係る評価手法の提示
3. スポーツにおける身体とジェンダー・サイエンスの推進
4. 男女共同参画推進のための研究者情報の整備と活用
5. 中等教育における女子学生の文理選択の健全化
6. 男性・男子にとってのジェンダー平等

GS10の開催企画概要

産学官の多様なセクター参画 / アジア各国の参画・連携促進

ダイバーシティによるイノベーションへの挑戦

ダイバーシティ推進、女性の参画拡大により何が期待されるか

目標設定

多様な視点の尊重

女性視点からの
新たな研究開発

ダイバーシティによる
研究分野としての
「スポーツ」

女性ならではの特長の活かし方

即選考

新価値の創出

人財力の最大活用

(各々が才能開花し得る社会へ)

「女性活躍」を支える人材育成

女子中高生の理想的な進路選択

将来を担うリケジョの拡充

「女性活躍」時代における男性の育成

「女性活躍」へのアンチテーゼ

女性研究者への
進路選択



女性活躍を支える
人材ネットワークの構築



GS10の開催企画概要

● プログラム構成案

	25日（木）	26日（金）
AM	オープニング	本会議（Plenary Session） [一橋講堂]
	本会議（Plenary Session） [一橋講堂]	
	午餐 90分	
PM	本会議（Plenary Session） [一橋講堂]	ポスター等
	休憩 30分	休憩 30分
	3 Parallel Sessions [中会議室、特別会議室、等]	3 Parallel Sessions [中会議室、特別会議室、等]
	休憩 30分	休憩 30分
	3 Parallel Sessions [中会議室、特別会議室、等]	クロージング
	懇親会 [如水会館（案）]	

GS10の開催企画概要

● 招聘者（予定）及び参加者

【国内】

- ・ 内閣府、文部科学省、経済産業省等の代表：
⇒ 文部科学大臣、内閣府特命担当大臣（男女共同参画担当）等の出席を要請
- ・ 主催者代表として、科学技術振興機構、日本学術会議の長
- ・ 学協会、大学などの協賛機関の代表、研究者、行政担当者 等

【海外】

- ・ 欧州委員会等、GS設立機関の各代表（GSの設立者代表）：
- ・ アジア・太平洋地域の男女共同参画関係機関の代表
⇒ 今後、参画を積極的に働きかける予定
- ・ アジア・太平洋地域におけるテーマに関係する研究者 等

6つのワーキンググループ

● 各ワーキンググループのリーダー

1. 女性参画拡大により期待されるイノベーション上の利点の明確化

リーダー：行木陽子（日本IBM株式会社 ソーシャル事業本部 技術理事）

2. ダイバーシティ推進に係る評価手法の提示

リーダー：藤井良一（情報・システム研究機構 理事）

3. スポーツにおける身体とジェンダー・サイエンスの推進

リーダー：井野瀬久美恵（日本学術会議 副会長）

4. 男女共同参画推進のための研究者情報の整備と活用

リーダー：森初果（日本物理学会応用物理学会 男女共同参画連絡会責任者 /
東京大学物性研究所 教授）

5. 中等教育における女子学生の文理選択の健全化

リーダー：宮浦千里（東京農工大学 副学長）

6. 男性・男子にとってのジェンダー平等

リーダー：伊藤公雄（京都大学大学院文学研究科 教授）

GS10 の実施体制

Gender Summit 10 の主催・協賛

東京に加えて福岡・沖縄のサテライトイベントも開催予定

主催



(欧州委員会の委託を受けたNPO)

後援



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



内閣府

Cabinet Office, Government of Japan



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry



United Nations Entity for Gender Equality
and the Empowerment of Women

NATIONAL COMMITTEE
JAPAN



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

協賛
(予定)



KYUSHU
UNIVERSITY



FUKUOKA WOMEN'S
UNIVERSITY



OIST



...

⇒ 企業を中心に多くの機関に協力要請

スポンサーシップについて

「パートナー」

Partners

「協賛」

Sponsors

「協賛」機関は、科学技術に関係し、かつ Gender Summitの意義に賛同していただけることが求められます。

「協力」

Supporting Organizations

登壇者の参加費自己負担等、円滑な運営への協力機関

「後援」

Associates

公共性が強い政府機関等による
品質・正統性の保証、人的支援（幹部の出席）

サミット運営への参画等、
貢献の特に大きな提携機関

金銭的支援機関

各グレードと資金提供の目安

platinum (≥ 100万円)

gold (≥ 50万円)

pearl (≥ 10万円)

特典

HPや配布物等に
おけるロゴのサイズ



GS10
無料聴講券



	Platinum Sponsor	Gold Sponsor	Pearl Sponsor
	100万円以上	50万円以上	10万円以上
オフィシャルHP（英語）	ロゴ、企業紹介	ロゴのみ	ロゴのみ
国内HP及び広報リーフレット	ロゴ（大）	ロゴ（中）	ロゴ（小）
GS10プログラム、論文集	裏表紙にロゴ	—	—
GS10無料聴講券	5枚	3枚	—

(参考) Gender Summit について

2011年発足



欧州委員会が中心となり発足
欧州・米国に次いで、アフリカ、
アジアへと世界展開中



Science

Gender

**男女の差を重要な要因と捉え
研究とイノベーションの質の
向上を目指す**

**Gender
Summit**

科学者

企業

政策
決定者

行動

**問題
解決**

Gender Summitの特長

- ・ 男女差を認識し、重要な要因と捉える
 - ・ 科学技術からスタート
 - ・ 多岐にわたる参加者
→ 科学者（文理）、企業、政策決定者、…
- ⇒ 問題提起だけではなく、
解決への具体的な行動を目的
としている

(参考) Gender Summit について

男女共同で研究することにより男女差考慮した研究が拡大

男女の性差を考慮して研究開発を進めることにより、全ての人に適した真のイノベーションを創出することが可能になる（Genderd Innovation by Londa Schiebinger）

創薬の研究開発

多く実験でオスの動物を使用
⇒ 女性には効果の低い薬が開発されることがある

幹細胞臓器移植の適合性

臓器移植に男女考慮なし
⇒ 幹細胞に男女差あり、移植も女性同士、男性同士の移植が望ましい

シートベルト設計

男性の体型を前提に開発
⇒ 交通事故において女性の方が重篤な負傷を負う率が高い

骨粗鬆症の診断方法

女性を対象として診断法が確立
⇒ 骨粗鬆症と診断されない男性患者が多く存在

機械翻訳プログラム

人の標準を男性に設定
⇒ 女性の名前も「彼」と翻訳されることが多く「彼女」と出ること少ない

大腸内視鏡検査の確立

男性の体を対象にして設計
⇒ 女性の大腸癌を見落とす事例が多い

(参考) Gender Summit について

GS 開催実績及び予定



(参考) Gender Summit について

これまでの Gender Summit (テーマ等)

開催年度	開催場所	テーマ、開催の主体	参加数
2011	ブリュッセル (ベルギー)	Quality Research and Innovation through Equality European Science Foundation / Portia Ltd, UK	約300名
2012	ブリュッセル (ベルギー)	Aligning Agendas For Excellence European Science Foundation / Portia Ltd, UK	
2013	ワシントンD.C. (米国)	Diversity Fueling Excellence in Research and Innovation National Science Foundation (NSF) / Natural Sciences and Engineering Research Council of Canada (NSERC) / National Institutes of Health (NIH) National Council on Science and Technology (CONACyT) / Canadian Institutes of Health Research(CIHR) / Portia Ltd, UK	約650名
2014	ブリュッセル (ベルギー)	From Ideas to Markets: Excellence in mainstreaming gender into research, innovation, and policy DaVinci Institute / Portia Ltd, UK	40カ国から約350名
2015	ケープタウン (南アフリカ)	Poverty Alleviation and Economic Empowerment through Scientific Research & Innovation: Better Knowledge From and For Africa Department of Science and Technology, South Africa / Department of Women, South Africa / Howard Univ. Rep. of South Africa Project (HURSAP) Sciences Research Council (HSRC) / National Research Foundation(NRF) / National Science Foundation (NSF) / Portia Ltd, UK	アフリカ中心に約300名
2015	ソウル (韓国)	Better Science & Technology for Creative Economy: Enhancing the Societal Impact through Gendered Innovations in Research, Development and Business Center for Women in Science, Engineering and Technology (WISET) / Portia Ltd, UK National Research Foundation of Korea(NRF) / Korea Institute of S&T Evaluation and Planning(KISTEP)	40カ国から約600名
2015	ベルリン (ドイツ)	Mastering Gender in Research Performance, Contexts, and Outcomes ELSEVIER / Robert Bosch Stiftung GmbH (Robert Bosch Foundation) / Portia Ltd, UK NordForsk / Committee for Gender Balance and Diversity in Research(KIF) / Swedish Secretariat for Gender Research	欧州を中心に約300名
2016	メキシコシティ (メキシコ)	Science without borders: Improving impact by interlinking gender, geographic, disciplinary and educational dimensions. The National Council on Science and Technology (CONACYT) / The Inter-American Development Bank (IDB) / Portia Ltd, UK The National Science Foundation (NSF) / Natural Sciences and Engineering Research Council (NSERC) / ELSEVIER	約400名